

子供園名	杉並区立高円寺北子供園			園長名	川嶋 佳恵
住所	東京都杉並区高円寺北 2 - 1 4 - 1 3				創立 1972 年
電話番号	03-3330-0340	FAX 番号	03-3330-0340		
URL			最寄り駅	高円寺	
2024 年度年少クラス募集人数 (実績)			23 名 (9)	定員数	23 名
各学年のクラス数	年長 1クラス	年中 1クラス	年少 1 クラス		
送迎バス	駐車場	指定制服	指定カバン		
<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> 一部あり (体操着のみ) <input checked="" type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> あり (推奨カバンあり、 その他のものでも OK) <input type="checkbox"/> なし		
プレ (2 歳児/満 3 歳児クラス または定期的に参加するもの) <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			昼食 週 5 回 給食 (<input checked="" type="checkbox"/> 自園調理 <input type="checkbox"/> 配食)		
預かり保育 通常時/長期休暇中 <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし / <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし		課外活動 (子供園内で実施する習い事) <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし			
卒園後に進学する主な小学校 杉並区立高円寺、杉並第一・第三・第六・第七・第九・第十、和田、馬橋小学校ほか					

子供園の考え方を知るための質問

質問 1 : 園の一番の特徴は何ですか。(例 : 自由遊びをたくさんする、遊びの中でしっかり学ぶ、園庭遊びをたくさんする、自然とのふれあいを大切にする等一言をお願いします。)

回答 1 : 「子どもまんなか」で様々な遊びの中で人格形成の基礎を培うの質の高い教育・保育

質問 2 : 園児と接する時に大切にしていることや教育方針を教えてください。

回答 2 : 一人ひとりの子どもの心に寄り添い、個性や人権を大切に丁寧な関り

質問 3 : これからの子どもたちにはどのような力が必要と考えますか。

回答 3 : 多様性の時代の中で、相手を尊重しながら様々な人と関わる力や様々な困難の中でも

自分を信じて強く生き抜く力

質問 4 : お昼ご飯はどのような内容ですか。

回答 4 : とてもおいしい自園給食です。その他に子どもたちが作った野菜や果物を調理して食べ

たり、年長が育てたジャガイモや野菜を切って、カレーパーティーをしたりもします

子供園の活動を知るための質問

質問 5 : 日々の活動内容について教えてください。

質問 5-1 : 自由活動では園児たちはどのようなことをしていますか。

回答 5-1 : 様々なごっこ遊びや製作、運動遊び、自然とのかかわり遊び、砂場遊び、構成遊びな

ど自分がしたい遊びを自由に選んでじっくり、友達と一緒に、時には試行錯誤しながら

ら遊びます。

質問 5-2 : 他学年との交流はありますか。

回答 5-2 : 七夕やカレーパーティーなどで 3 学年一緒に会食をしたり、年長の子どもたちが

年中や年少の子どもたちを招いてごっこ遊びを展開したりなど他学年との交流があ

ります

質問 5-3 : 一斉活動では外部講師が指導するものはありますか。

回答 5-3 : 様々な体の動かし方を楽しみながら取り組む運動遊び、絵本の読み聞かせや素話等の

おはなし会、キックバイクを使ったデンマーク式自転車ゲーム等は地域の教育力

である外部講師の方に楽しく指導いただいています

質問 5-4 : 近年、新たに取り入れた活動や取り組みはありますか。

回答 5-4 : 外部講師によるキックバイクを使ったデンマーク式自転車ゲーム

質問 6 : 小学校入園に向けた準備として行う事はありますか。

回答 6 : 規則正しい生活リズムを整えることと幼児期にしかできないこと（遊びや活動）を十分

に経験させることで、学びの基礎が培われ、小学校以降の教育につながっていくと考え

ます

質問 7 : 行事について教えてください。

こどもの日、年長児主催のごっこ活動、七夕、カレーパーティー、運動会、子ども会（劇遊び）

音楽会等子どもたち一人ひとりが取組の中で楽しさを感じながら自分の力を発揮できるように

しています

質問 7-1：主な年間行事を教えてください。

回答 7-1

4月 始業式 入園式 保護者会 健康診断

5月 親子で遊ぼうデー 5歳児保育参観 5歳児遠足（井の頭自然文化園）

デンマーク式自転車ゲーム（4、5歳）

6月 4歳児保育参観 年長ごっこあそび

7月 5歳児遠足（プラネタリウム）七夕集会&七夕パーティー カレーパーティー 終業式

8月 夏季保育

9月 始業式 高円寺学園との交流 入園説明会

10月 運動会 バス遠足（4、5歳児）

11月 保育参観 子ども会（4、5歳）

12月 保護者会 お楽しみ会 デンマーク式自転車ゲーム（4、5歳）終業式

1月 始業式

2月 節分 ミニミニコンサート 子ども会（3歳） 高円寺学園との交流 交通安全教室

3月 ひな祭り会 お別れ会 お別れ会 修了式 終業式

毎月 安全指導 避難訓練 誕生会 体重測定

随時 元気タイム おはなし会 未就園児の会ひよこ

質問 7-2：園児の参加する行事の中で、未就園児が親子で参加または見学できるものはありますか。

回答 7-2：運動会は見学できます

子供園と家庭とのかかわりを知るための質問

質問 8-1：保護者会、委員会活動など保護者の参加が求められる行事はありますか。

回答 8-1：保護者会、保護者懇談会、個人面談、

質問 8-2：行事以外の普段の日の保育参観は可能ですか。

回答 8-2：幼児の生活実態や行事等に応じて調整は必要ですが可能です

質問 8-3：父母会やクラブ活動など、保護者同士の交流を深めるために行っていることはありますか。

回答 8-3：PTA 活動（できる時にできることをしてもらっています）

質問 8-4：保護者の参加する係やお手伝いについて、具体的に教えてください。（例：～係（毎月 1 回）、～係（行事当日のみ）、クラス幹事（幹事会毎月 1 回）等）

回答 8-4：PTA 役員・学級委員（月 1 の定例会）、絵本係（年間 2～3 回）、

未就園児の会のお手伝い（月に 2～3 回あるので、都合の良い日に）、

行事のお手伝い等（随時）等

降園後の活動についての質問

質問 9-1 : 課外活動はどのようなものがありますか。

回答 9-1 : 特になし

質問 9-2 : 預かり保育について伺います。

質問 9-2-1 : 預かり保育を行う時間を教えてください。ある場合はできるだけ具体的に補足をお願いします。(例 : 月火水木金 降園後～17時)

回答 9-2-1 : 短時間保育利用の方 : 月～金 全員保育終了後～17時まで

質問 9-2-2 : 長期休暇中の預かり保育はありますか。ある場合はできるだけ具体的に補足をお願いします。(例 : 月火水木金 9時～17時、祝日、お盆、年末年始を除く)

回答 9-2-2 : あります 月～金 9時～17時 (月に10日まで)

質問 9-2-3 : 預かり保育ではどのような活動を行いますか。

回答 9-2-3 : 長時間保育のお子様と一緒に外遊びを楽しんだり、机上遊びを楽しんだり、おやつを食べたりします

質問 9-2-4 : 新2号認定を取得して預かり保育を利用している人はどのくらいいますか。

回答:9-2-4 : 2人

考査に向けて心配な保護者に向けて差支えない範囲でおしえてください

質問 10 : 質問 7-2 以外に、子供園説明会、未就園児向けの催しなど、入園を検討している保護者と子どもが参加できる(園児が参加しない)行事はありますか。

回答 10 : 未就園児の会ひよこ（月 2～3 回） 子供園説明会（9 月半ば以降）

質問 11 : 子供園の選び方について、保護者の方へのアドバイスをお願いします。

回答 11 : サービス面ばかりに目を向けるのではなく、まずは、幼児期にどのような教育・保育を受けることが、お子様の幸せな将来につながるのかを考えたくて、保護者様が納得のいく園をお選びください。

質問 12 : 定員を越えた場合の選考方法を教えてください。

回答 12 : 抽選になります

質問 13 : 入園前後の子どもへの接し方について、保護者の方へアドバイスをお願いします。

回答 13 : お子さんが保護者の方にしがみついているときには、無理に離れようとせず、自立しようとしているときには、手を出しすぎずそっと見守りながら、いざ、お子様が不安を感じた時には、いつでも無条件に受け入れるという気持ちで接していくと「自分という存在は、いつでも大切にしてもらえる」「どんな自分でも愛してもらえる」「そうしてもらえるだけの価値が自分にはある」という心が育ち、安定して成長することができますよ。